

はじめに

鹿児島県は、九州の南端に位置し県本土から奄美諸島の島々まで南北約600kmと長く、温帯地域帯から亜熱帯地域帯に渡る気候を生かし、畜産や園芸作物、さとうきびなど多様な農業が取り組まれています。令和2年の農業産出額を見ると全国2位で、中でも肉用牛、豚、茶（生葉）などは全国1位を誇っています。

九州農政局鹿児島県拠点では、農業者をはじめ地方自治体、農業関係団体等の皆様に対して「みどりの食料システム戦略」などの農林水産省の施策を情報提供し、意見交換を通じて現場の意見を汲み上げ、農業者等が抱える課題を共に解決することにより、農業生産基盤の強化や農業者の経営安定、農村地域の活性化の実現を目指す取組を行っています。

こうした中、農業の魅力に惹かれ非農家から転身した新規就農者、将来の夢に向かって突き進んでいる新規就農者、地域のサークルに参加して仲間と切磋琢磨する新規就農者など、県内には数多くの活気ある新規就農者がいらっしゃることに気付かされました。

この冊子には、地域の次世代リーダーとして、今後の鹿児島県農業を担う新規就農者にスポットを当て、若い力で農業経営に取り組まれている新規就農者の皆様を広くPRすることで、これから農業を志す方への指針となることを期待するとともに、消費者の皆様にも、農業をもっと身近に知っていただきたいとの思いで、鹿児島県内39名の新規就農者の農業経営の概要、特徴的な取組、今後の展望、就農のきっかけ、就農を目指す方へのアドバイス等を盛り込みました。この冊子が鹿児島県農業の発展の一助となれば幸いです。

最後になりますが、新規就農者を紹介していただいた市町村及び快く取材に御協力いただいた39名の新規就農者の皆様に改めて感謝を申し上げます。皆様方の今後の御活躍を祈念申し上げます。